

2012年1月20日

通研共同プロジェクト研究会

「光ファイバネットワークを利用した地震・津波・地殻変動の面的な計測技術の構築」のご案内

時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本プロジェクト研究は、災害に強い情報通信環境の実現を目的とした緊急の共同プロジェクト研究(共プロU)の一環として、光通信技術の活用により新たな地震・津波計測ネットワークの構築を目指すものです。東日本大震災を契機として、今後の激甚災害に備えるために、地震、津波、地殻変動観測の高性能化に大きな期待が寄せられています。観測システムの高性能化にあたっては、広範囲に及ぶ観測データを迅速且つ正確に伝達するために、情報通信技術が果たす役割は極めて重要であります。

本研究会では、光ファイバネットワークを活用した地殻歪み・重力・傾斜等の面的計測技術の構築を目的として、光通信・レーザ技術ならびに地震・津波をはじめとする地球科学の両分野の研究者の間で、最先端の研究成果と今後の展開について議論を行います。皆様多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

東北大学電気通信研究所 中沢 正隆

記

日時： 2012年1月30日(月) 13:30-17:00

場所： 東北大学電気通信研究所 2号館4階大会議室 (片平キャンパス南門北側)

プログラム：

- | | | |
|-------------|---|------------------------------|
| 13:30-13:45 | 「光ファイバネットワークを利用した地震・津波・地殻変動の面的な計測技術の構築」の概要と目的 | 中沢正隆(東北大学) |
| 13:45-14:25 | ファイバ光センサによる地震観測の現状 | 三ヶ田均(京都大学) |
| 14:25-15:05 | レーザー干渉計の地震・地殻変動観測への応用 | 新谷昌人(東京大学) |
| 15:05-15:30 | 休憩 | |
| 15:30-16:10 | 塩分測定への半導体レーザヘテロダイナミックパス干渉計の応用の試み | 浅川賢一、高橋幸男、石原靖久
(海洋研究開発機構) |
| 16:10-17:00 | ディスカッション | |

参加申込・問合せ先：

東北大学電気通信研究所中沢研究室 廣岡 俊彦 (Tel. 022-217-5525 e-mail: hirooka@riec.tohoku.ac.jp)